

荒山ちあきさんを 推薦します

松沢 成文 豊田 稔
参議院議員 前神奈川県知事 茨城県市長 会長

高杉 徹 小谷 隆亮
前常総市長 茨城県町村会長

同志会 中村 博美
常総市市議会議員

常総市健康維持クラブ

■荒山ちあきプロフィール

1969年11月生 桜川市真壁町生まれ、
真壁町立真壁小学校卒業
真壁町立桃山中学校卒業
茨城県立下館第二高等学校卒業
つくば国際短期大学 保育科 卒業
職業：保育士（市内チャイルド・クラブ・ハンセ園長）
趣味：スノーボード、スポーツ観戦、ダンス(ZUNBA)、
めだか飼育、ビームライフ（高校時代は射撃
で国体団体優勝、海外遠征も経験）
職歴：日立建機株式会社つくば支店勤務、
筑波大学付属病院 医事課非常勤、
荒山石材店（実家）事務
現在：ハピネス合同会社 顧問（児童発達支援事業
及び放課後等デイサービス）、
株式会社こどもプラス 運動指導員、
NPO法人 運動保育士会 アシスタント
一般社団法人ベビーサイン協会 認定講師
茨城県自閉症協会 正会員

洪水被害からの復旧!常総にはやるべきことがある!!

県の力を常総に呼び込みます!現職知事と共に復興促進!!

- 4つの目的**
- 1 橋本知事を支援し「非自民の力を結集して」県議会に挑戦する。
 - 2 小池都知事の改革を茨城・常総で進め、新しい政治勢力を「茨城県民ファースト」の会を地域につくる。
 - 3 自民党一党支配の県議会から、県民の声が届く議会へ。
 - 4 議員報酬3割削減 85万円↓60万円
議員定数2割削減 63議席↓50議席
- 7つの政策**
- 1 洪水被害からの復旧、復興を促進
 - 2 新時代の農業6次産業化の推進と圏央道常総インターチェンジ周辺開発計画を支援する。
 - 3 東海第二原発再稼働反対!!
 - 4 動物殺処分ゼロを目指す。
 - 5 障害を持つ子の教育環境と雇用を拡大する。
 - 6 子どもたちへの教育支援で貧困の連鎖を断つ!!
 - 7 医療、福祉優先の県政をつくる。



荒山

ちあき

県民ファースト=県民党=クリーン県政



金子てるひさ 33歳

- ・昭和 59 年 5 月 15 日 生まれ
- ・常総市立三妻小学校
- ・常総市立鬼怒中学校
- ・茨城県立水海道第一高等学校
- ・学習院大学法学部政治学科
- ・上場不動産投資会社を経て
- ・常総市議会議員（2期）

次代の茨城を担う責任。

安心を。

「防災」の可能性に挑戦。

平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨水害の経験を基に、災害時に行政はどのように行動すべきか、また住民の安全を確保し、信頼できる情報を提供できるか、今後想定される大規模災害に対して災害に強い県土を創るべく、県政に積極的に提言を行ってまいります。

未来を。

「教育」の可能性に挑戦。

教育こそ、豊かで文化的な次の時代をつくります。都会では経験できない自然に囲まれた環境で、さまざまな「体験」を通じて郷土愛を培い、知的好奇心を目覚めさせ、将来の夢を育みながら心も体も充実した子どもたちを育成する教育の「茨城モデル」を提言します。

実りを。

「農業」の可能性に挑戦。

全国第2位を誇る農業大県の可能性は無限大です。そんな豊かな実りある「食の宝庫」に世界が目を向け始めました。農業の担い手を確保し、茨城の潜在的な農業力と近未来的なテクノロジーの融合で、備かる農業の可能性は飛躍的に向上し、農業は次世代の基幹産業となることを確信しております。

誇りを。

「郷土」の可能性に挑戦。

本当に茨城は魅力度最下位ですか。いえ、茨城は全国を魅了する資源に溢れています。そんな茨城の郷土の誇りを取り戻し、東京から近いという立地を最大限に活かしながらヒト・モノ・カネの好循環を生み出し、すべての世代が安心して住みたい、住み続けたい茨城の郷土づくりを進めます。



自由民主党公認

金子てるひさ

33歳

茨城県議会議員常総市選挙区補欠選挙

投票日 8月27日(日)

～明日を見つめて投票しよう～

投票日の当日、仕事や旅行などで投票に行けない方は、期日前投票をしましょう。

茨城県選挙管理委員会



～明日を見つめて投票しよう～

茨城県議会議員常総市選挙区補欠選挙

投票日 8月27日(日)

投票日の当日、仕事や旅行などで投票に行けない方は、期日前投票をしましょう。

茨城県選挙管理委員会